

政策体系	基本目標名	04	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	施策主管課長	生涯学習課
	政策名	02	地域とともに学び育てるまちづくり		
	施策名	01	生活を豊かにする生涯学習の推進		
施策関係課	市民生活課、少年指導センター			三関 純一	

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方		
	①市民 ②市内の青少年 ③生涯学習施設	① 市人口 ② 小学校5年生～29歳の人数 ③ 生涯学習施設の数(累計) ④	人	人	件						115,700	-
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)				R4	R5	R6	R7		成果指標の取得方法	
	①主体的に学習し、その学習成果を地域社会へ還元する。 ②青少年が健全に成長する。 ③学習の環境が整う。	① 日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合(単年度) ② 学習成果を還元する取組を行う市民の割合(単年度) ③ 自分が成長し自立したと感じる新成人の割合(単年度) ④ 楽習講師が社会還元した件数(年度ごとの講座実施数)	区分	単位	目標							実績
		目標	実績	目標	実績	31	32	33	34			① 市政に関するアンケート調査
		%	%	%	%	34.4	-	-	-			② 市政に関するアンケート調査
		目標	実績	目標	実績	13	13.5	14	14.5			③ 成人式企画運営委員会アンケート調査
		%	%	%	%	28	-	-	-			④ 生涯学習課資料
		目標	実績	目標	実績	93.5	94	94.5	95			
		%	%	%	%	100	-	-	-			
		目標	実績	目標	実績	310	320	330	340			
		件	件	件	件	159	-	-	-			

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	
学習情報及び場の提供	①市民 ②生涯学習の拠点施設	①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	① 課HPへのアクセス数(単年度)	目標	件	69,000	73,000	77,000	81,000	学習成果を活かす取組	①学習して学んだ市民	①学習で培った知識、技術を社会へ還元できる。	① ボランティア登録者数(単年度)	目標	人	435	440	445	450	
			② 生涯学習施設の利用者数(単年度)	目標	千人	32,677	-	-	-				② 社会活動をしている高齢者(単年度)	目標	%	273	-	-	-	
			③	目標		1,010	1,010	1,010	1,010				③	目標		52.5	55	57.5	60	
			④	目標		625	-	-	-				④	目標		42.6	-	-	-	
青少年の健全育成	①青少年	①夢や希望を持ち、心豊かでたくましく成長している。	① 研修会等の参加人数(単年度)	目標	人	150	155	160	165				①	目標						
			② 企画事業への参加者数(単年度)	目標	人	87	-	-	-				②	目標						
			③	目標		500	600	700	800				③	目標						
			④	目標		47	-	-	-				④	目標						

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和4年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い世代が生涯学習に取り組めるよう、様々な学習メニューを企画し、広報さのや市ホームページ、佐野ケーブルテレビ等の媒体を利用して情報を発信する。</li> <li>人材育成や学習成果を発表・還元する機会の充実を図り、学習成果を活かす取組を地域社会に貢献できる人材育成につなげる。</li> <li>類似する事業を統合し、市民の学習ニーズを把握しながら各種講座の充実を図る。</li> <li>青少年を対象とした体験的な学習活動を実施するとともに、青少年の健全育成のための学習活動を実施している青年団体への支援を行う。</li> <li>図書館・公民館等の生涯学習施設について、計画的に改修・修繕を行い、快適な学習の場の提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【施策の取組方針達成状況】</li> <li>・広報誌での特集記事「オープン」の掲載、ホームページ、佐野ケーブルテレビ等での情報発信は実施できた。</li> <li>・令和4年度は、人材育成や学習成果を発表・還元する機会として生涯学習フォーラムを開催した。</li> <li>・市民の学習ニーズの把握については、新たな学習ニーズの把握までに至らなかった。</li> <li>・青少年を対象とした活動や青年団体の活動は、コロナ禍であったため多くの活動が実施できなかった。</li> <li>・生涯学習施設の整備については、大規模修繕については計画的に実施し、軽微な修繕等については必要に応じて実施した。</li> <li>【成果指標達成状況】</li> <li>・「日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合」は34.4%で目標を達成した。</li> <li>・「学習成果を還元する取組を行う市民の割合」は28.0%で目標を達成した。</li> <li>・「自分が成長し自立したと感じる新成人の割合」は100.0%で目標を達成した。</li> <li>・「楽習講師が社会還元した件数」は、159件で目標未達成であった。</li> </ul>		

基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
学習情報及び場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い世代が生涯学習に取り組めるよう、様々な学習メニューを企画し、広報誌・インターネット・ケーブルテレビ等の媒体を利用して情報を発信する。</li> <li>市民の学習ニーズに対応した各種講座を企画し、市民や地域の様々な課題への対応を図る。</li> <li>図書館・公民館等の生涯学習施設について、計画的に改修・修繕を行い、快適な学習の場の提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基本事業の取組方針達成状況】</li> <li>・学習情報の提供として、広報誌での特集記事「オープン」の掲載やホームページ、佐野ケーブルテレビへの掲載の他、生涯学習メニューパンフレットの年2回の発行を実施した。</li> <li>・市民の学習ニーズの把握については、出前講座の際の報告書で行っているが、新たな学習ニーズの把握には至らなかった。</li> <li>・生涯学習施設の整備については、中央公民館の空調設備、田沼中央公民館の蓄電池の修繕を行った他、各地区公民館や各図書館については軽微な修繕を行った。</li> <li>【成果指標達成状況】</li> <li>・「課HPへのアクセス数」は32,677件で目標未達成であった。</li> <li>・「生涯学習施設の利用者数」は625,802人で目標未達成であった。</li> </ul>	学習成果を活かす取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習フォーラム、楽習講師フェア、楽習講師の企画講座・出前講座及び公民館まつり等を実施することにより、人材育成や学習成果を発表・還元する機会の充実を図り、学習成果を活かす取組を地域社会に貢献できる人材育成につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基本事業の取組方針達成状況】</li> <li>・例年開催している生涯学習フォーラムでは、楽習講師フェアを同一事業として開催しているが、コロナ禍の内容で開催できた。</li> <li>また、学習講師企画講座や出前講座、公民館まつり等は、縮小又は中止となった。</li> <li>【成果指標達成状況】</li> <li>・「生涯学習ボランティア数」は273人で目標未達成であった。</li> <li>・「日頃から社会と関わり持つ活動をしている高齢者の割合」は42.6%で目標未達成であった。</li> </ul>
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年を対象とする体験的な学習を継続的に実施するとともに、それらに高校生・大学生等の青年をスタッフとして活用しリーダー養成につなげる。また、青少年健全育成のための学習活動を実施している青年団体を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基本事業の取組方針達成状況】</li> <li>・青少年を対象とした体験的な学習は、新型コロナウイルスの影響により一部のみの実施となった。</li> <li>・子ども会育成者対象の研修講座は、新型コロナウイルスの影響により実施できなかった。</li> <li>・青年団対等の活動支援については、新型コロナウイルスの影響により限定的な支援となった。</li> <li>【成果指標達成状況】</li> <li>・「体験学習・研修会の参加人数」は87人で目標未達成であった。</li> <li>・「学習活動実施団体が企画した事業の参加者数」は47人で目標未達成であった。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>【基本事業の取組方針達成状況】</li> <li>・例年開催している生涯学習フォーラムでは、楽習講師フェアを同一事業として開催しているが、コロナ禍の内容で開催できた。</li> <li>また、学習講師企画講座や出前講座、公民館まつり等は、縮小又は中止となった。</li> <li>【成果指標達成状況】</li> <li>・「生涯学習ボランティア数」は273人で目標未達成であった。</li> <li>・「日頃から社会と関わり持つ活動をしている高齢者の割合」は42.6%で目標未達成であった。</li> </ul>

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年6月議会において、本市の生涯学習の推進に関し、生涯学習推進基本計画策定後の経過と今後、人材育成等将来を見据えた生涯学習の推進、全市民的に推進していくための生涯学習の拠点等についての質問があった。また、平成28年12月には、佐野市社会教育委員から(仮称)生涯学習センター設置についての提言書が提出された。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の発生以来、感染拡大防止のため、各種講座等を開催できない状況が続いたが、令和5年5月に同感染症の扱いが2類から5類に分類されたことにより、出前講座の開催等、生涯学習の推進に向けた取り組みが再開できるようになった。</li> </ul>	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが選択したことを楽しく学び、自己の向上に努める。</li> <li>・地域社会の活動に参加し、学習成果を地域に還元する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが選択したことを楽しく学び、自己の向上に努める。</li> <li>・地域社会の活動に参加し、学習成果を還元する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習、社会教育への参加の啓発、生涯学習のメニューの充実を図る。</li> <li>・社会的な課題への対応や専門知識の習得など、社会の要請に応える学習の機会を提供する。</li> </ul>

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報さの及びホームページに生涯学習情報を掲載、生涯学習メニューパンフレットを年2回発行し学習情報を提供できたが、新たな学習ニーズの把握については、把握には至らなかった。その理由は、把握方法として出前講座の際の報告書で行っているが、この方法だけでは不十分であったと考えられる。</li> <li>また、生涯学習施設の修繕については、緊急性の高いものから優先的に行ってきたが、全体的には多くの施設が未整備となっている。今後も計画的、集中的に実施する必要があると考えている。</li> <li>・生涯学習フォーラム・各種講座等は、予定していた全事業の開催ができたため、「日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合」及び「学習成果を還元する取組を行う市民の割合」は目標を達成した。その理由は、コロナ禍にあった前年度と異なり、学習成果を還元する機会の提供が十分であったことが考えられる。</li> <li>・青少年を対象とした体験的な学習活動は、佐野・芦屋青少年交流事業及び子ども会ジュニアリーダー研修会は中止なり、青少年ボランティア研修会は例年通り開催できたが、「研修会等の参加人数」、「企画事業への参加者数」共に、目標に達しなかった。また、青年団体の活動についても十分な活動が実施できず、全体的には目標に達しなかった。その理由は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の開催が中止となったことが考えられる。</li> <li>・当施策の令和4年度の決算額は約3億3,768万円で、前年度の約3億4,755万円に比べ約987万円の減となった。主な要因は、計画的に実施している公民館の修繕額の減による。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【令和5年度で解決する課題】</li> <li>・生涯学習における学習ニーズの把握</li> <li>【令和6年度以降にも引き継がれる課題】</li> <li>①30代以下の世代の生涯学習活動への参加促進</li> <li>②学んだ成果を発揮するイベント等の周知及び場の提供</li> <li>③オンラインでの自宅学習などICTを活用した新たな取り組み</li> <li>④青少年の健全な育成のために体験学習の継続的な実施とリーダーの養成</li> <li>【令和6年度重点課題】</li> <li>⑤生涯学習の拠点である生涯学習施設の整備、改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①若い世代が生涯学習に取り組めるよう、多様な学習メニューを用意し、様々な媒体で周知を図る。</li> <li>②学習成果を自ら企画し発表できるイベント等の誘致及び場の提供(講座の開催等)を行い、特にシニア世代が地域社会に貢献できる人材育成やまちづくりの参画につながるよう支援する。</li> <li>③生涯学習における様々な課題に対応するため、各講座の内容を精査し、オンライン講座などICTを活用した新たな取り組みを検討する。</li> <li>④青少年を対象とする体験的な学習を継続的に実施するとともに、それらに高校生・大学生等の青年をスタッフとして活用しリーダー養成につなげる。また、青少年健全育成のための学習活動を実施している青年団体を支援する。</li> <li>⑤生涯学習施設を計画的に改修・修繕を行い、快適な学習の場を提供する。</li> </ul>